

11月ひろば企画

自然エネルギーの利用拡大で電力はまかなえる!

夜間、荒天でも給電・蓄電が可能

去る11月8日、ひろば11月企画として「自然エネルギーを推進することで原発を止められるか」と題して小泉元首相が始めた自然エネルギー推進会議の事務局、岡本欣訓さんの講演があった。まず、原発は安「CO2は出さない」は真っ赤なウンであることが数値で明確に示された。次に自然エネルギーとして太陽光発電、風力発電、バイオマス発電、小水力発電など一通り話された。このうち小水力発電はコストが比較的安く、身近に水豊富な流れを確保できれば場所も取らず、防災対策として最も有効に利用できることが分った。

「小水力発電」とは水車を回す発電方法で、一般的には10,000KW/時以下の発電設備を指す。自然河川や農水路が身近で豊富な三島周辺にはもってこの環境に適したエネルギーである。天候による変動が少なく、安定した電力供給が可能だ。ネックは水利権に役立てている。

地域住民に還元し、地域活性化のための資金として活用できる。すでに長泉町では、自主避難所、生協駐車場と桜堤公園に給電システム、最大8KW/時を開いた。これは、災害時だけでなく、売電利益の一部を町内会費や祭典費用などに役立てている。

あるいは自治体と協働して取り組みこともできる。量的には到底原子力には及ばないが、大きな送電ロスとは無縁の地産地消型小水力発電は実益と防災対策を兼ね備えた夢のエネルギーだ。



心配される増水やゴミ等の対策装置も完備している。川に複数発電機を縦列設置することによって発電量が増えれば、病院、学校、体育館などへも供給可能だ。自治体財政に負担をかけることなく、

吉沢さんの講演を聞いて

12月19日、裾野市文化センターで福島原発被災地浪江町で希望の牧場を守り続けている吉沢さんの講演があり、その後、三島市内各所でも街頭演説が行われた。

吉沢さんの講演、街頭演説には、世紀の大演説を聴いたぞ!と感動した。国民の実力が試されている。「マイクを持ったら役者になれ」短いフレーズですが珠玉の言葉の数々に私も言葉を磨きたいと思っ。福島では発電した電気は使っていない、東京の人々が使っている。街が灯りで



輝き、便利な生活を支えている電気は福島から送っている。それなのに、原発のため何かも失ってしまつた浪江。もう戻るとはできないだろう。浪江は流浪の民になった。これが原発事故だ。それなのに川内、高浜と再稼働を認める人々がいる。国から殺処分命令が出ても命あるものをベニコヤは殺せない。被ばくして売物にならなくなった牛たちだが、希望の牧場では野良牛も助け300頭の命を放射能にさらし世話を続けた。

「おまの親で牧原市を擁護した」

市民ひろば新聞を讀む市、その人たちが浜岡「おまの親で牧原市を擁護した」と頑張って原発水久停止と頑張っています。ひとたび浜岡原発に不都合が生じたら、人ごとで済ませたい。私たちが生活が根底から揺らぐまで決まらざるを得ない。11月東日本大震災、それに伴ってまたもまたされた福島原発の事故。なすすべもなく、そのおそろしさが私の心に居座り続けています。浜岡原発に隣接する牧之原

本棚便り(4)

間宮 緑

「アイフ投擲師」ステイヴン・ミルハムザ、柴田元幸 白水リヴズ

もしもどこか知らない土地を旅するとして、あなたはどこを訪ねるだろうか。立て札にのびのびと由來を記した寺社や史跡、あるいは話題の観光スポットにも足が向くかもしれない。だが時には

「アイフ投擲師」ステイヴン・ミルハムザ、柴田元幸 白水リヴズ

もしもどこか知らない土地を旅するとして、あなたはどこを訪ねるだろうか。立て札にのびのびと由來を記した寺社や史跡、あるいは話題の観光スポットにも足が向くかもしれない。だが時には

2月のひろば企画
小水力発電の実際エネルギー
地産地消の実践
= 現地見学を兼ねて =

11月企画でお話いただいた岡本さんに小水力で発電をしている現場を案内していただき、災害時の電力利用やエネルギーの地産地消の可能性について一緒に考えていきます。

2月21日(日)
14時~17時(受付開始13時30分)
講師 岡本欣訓(おかもとよしのり)さん
会場 市民ひろば集合(現地集合の場合あり)
参加費 700円(予約 500円)

予約&問合せ tel 055-994-9211
fax 055-996-2656
e-mail yoyaku@shimim-hiroba.org

無添加無農薬ベクレルフリー
お弁当のさくら亭

055-931-8241 / 090-1090-1168

ご注文ください
確実にお渡しできます

お弁当 500円より
営業日 月~土
(日・祝の営業&配達等お問い合わせください)

〒411-0916 清水町中徳倉40-4
さくら亭 FBページ
https://www.facebook.com/Sakurakotei/

423回 三島児童文学を語る会
例会のお知らせ

日時: 1月30日(土) 第5土曜日
13時30分~16時30分

場所: 市民活動センター(本町タワー)
4階第1会議室

テキスト: 「若い木霊」宮沢賢治著
(新潮文庫「ポラノ」広場)所収)

講師: 小嶋利信

事務局 山口当子 猪浦久美子 佐藤麻智子 間宮緑
連絡先 三島市中央町8-8 山口 971-3348

トータルビューティ
TAYA

代表
美の匠 田屋有季子

花嫁着付・一般着付
カット&パーマ
フェイスリンパマッサージ

〒411-0801
三島市谷田 243-2
TEL&FAX 055-981-8019
携帯 090-8154-4324